

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2013. 2. 25

下水道機構の『新技術情報』 第81号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

皆さんはもうご覧になりました？サラリーマン川柳 2013、100 選！お昼休みの息抜きに笑わせてもらいました！個人的には、我が家の亭主の心情は「ゆるキャラと 思えば愛しい 肥えた妻」かなあと思いつつ(笑)

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第81号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・「活性汚泥法等の省エネルギー化技術に関する共同研究」の公募を開始しました
- ・平成 25 年度審査証明事業の更新技術、および変更技術の受付を開始しました
- ・2/28(木) 7：30～9：00の間ホームページが一時的に閲覧できなくなります
- ・2月サロンは下水道予算をテーマに開催しました

■機構の動き

- ・今週は、2/26(火)に高知県下水道地震・津波対策検討委員会を、2/28(木)に水処理新技術実用化評価委員会、3/1(金)下水道クイックプロジェクト推進委員会を開催します

■Tea Break

- ・在籍期間を振り返って（技術評価部 尾上裕二さんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる♪

- ・2/8(金)大阪会場、2/15(金)東京会場開催の新技術研究発表会の様子をお届けします

■国からの情報

- ・2月22日付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション（最新の話です）

。○。○。

●「活性汚泥法等の省エネルギー化技術に関する共同研究」の公募を開始しました
本研究は、水処理施設の省エネルギー化を図る有効な手法、技術について検討し、得られる成果の早い実現を目指すものです。

応募締切は、【平成25年3月22日（金） 17:00】、参画表明された企業を対象とした共同研究立ち上げ準備会は、【平成25年3月29日（金） 15:00～16:00】を予定しています。

※詳細はこちら→ http://jiwet.jp/pdf/kyodokenkyu_kasseiodei.pdf
興味のある方は、【TEL 03-5228-6541、FAX 03-5228-6512、E. mail shigen@jiwet.or.jp】まで、ご連絡ください。

●2/12日（火）より、平成25年度審査証明事業の更新技術、および変更技術の受付を開始しました

また、新規技術については4月1日（月）より受付開始いたします。なお、締切りは5月15日（水）になります。詳細はこちら→ http://www.jiwet.jp/examination_proof/

●ホームページ リニューアルのため一時的に閲覧できなくなります。（2月28日（木）7:30～9:00）

当機構のホームページですが、現在、リニューアル作業を行っています。サーバ環境のバージョンアップを、2月28日（木）7:30～9:00に実施する予定です。この間、一時的に閲覧できなくなりますので、ご迷惑をお掛けしますが、よろしく願いいたします。なお、予定日時の変更があった場合は、ホームページの新着情報に掲載いたします。

今回のリニューアルは、全面的にリニューアルを行うもので、訪問された方のニーズに的確に応えられるよう、デザインを一新し、課題に解決のための情報等を見やすく、探しやすくするとともに、Q&Aシステム、各種申し込みシステムを導入するなど機能面での充実を図ります。4月1日には、新しいホームページをご覧いただける予定です。

●2月サロンは下水道予算をテーマに開催しました

2月14日木曜日の技術サロンは、今まさに国会審議中のホットな話題「下水道事業予算」をテーマに、国土交通省下水道部下水道事業課の松原町村下水道対策官をゲストにお迎えして開催しました。当日は、24年度補正予算のポイント、全国防災事業の創設時の考え方から25年度予算等での取り扱い、25年度予算の補助金・交付金・事業制度の具体内容等について、編成に係るエピソードも含めてお話しいただきました。今後予算が成立し、24年度補正予算から25年度予算にかけた事業執行等で、老朽化対策をはじめ各種課題への対応が着実に進むことが期待されます。

さて、次回の第313回技術サロンは、3月14日木曜日17:00からの1時間です。ゲストには環境省大臣官房廃棄物対策課の岩崎補佐をお迎えして、「放射性物質を含む下水汚泥の対応」をテーマに開催します。皆様多数のご参加をお待ちしています！

お申し込み等はこちらまで→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-313.htm>

※1月技術サロン、酒井さんの資料を専用サイトに収録しました。専用サイト登録者は専用サイトからご覧いただけます。

。○○。

。○。

◎平成 24 年度第 2 回 高知県下水道地震・津波対策検討委員会

2/26(火) 14:00~17:00 場所：高知会館 飛鳥

講演：仙台市における東日本大震災の取り組み 議題：(1)地震被害の想定手法、(2)地

震被害の想定結果、(3)津波被害の想定手法、(4)地震津波ガイドライン策定の方向性

◎平成 24 年度第 3 回 水処理新技術実用化評価委員会

2/28(木) 14:30~16:00 場所：下水道機構 8 階特別会議室

議題：NADH センサーによる風量制御窒素除去法、雨水吐口設置可能コンパクト合流改

善技術の審議

◎平成 24 年度第 2 回下水道クイックプロジェクト推進委員会

3/1(金) 13:00~15:00 場所：下水道機構 8 階特別会議室

議題：社会実験技術の審議・評価等

●3/5(火) 15:00~17:00 平成 24 年度第 2 回水処理技術共同研究委員会

●3/7(木) 13:30~16:30 平成 24 年度第 3 回技術委員会

●3/12(火) 第 57 回 下水道新技術セミナー <東京会場>

3/19(火) 第 57 回 下水道新技術セミナー <大阪会場>

※参加お申し込みはこちら → http://www.jiwet.jp/school/school-02_057.htm

●3/14(木) 17:00~18:00 第 313 回 技術サロン

※参加お申し込みはこちら → <http://www.jiwet.jp/school/school-07-313.htm>

。○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。

●在籍期間を振り返って(技術評価部 尾上裕二さんからの投稿です)

私が下水道機構へ出向して、早 3 年が経過しようとしています。他の出向職員の皆さんが通常 2 年で卒業されていく中、私は少しだけ長い期間、在籍させていただいたことになります。この 3 年間を振り返ると、1 年目は山のような仕事量を目の前に途方に暮れていた毎日、2 年目は少し慣れてきたものの、慣れからくるミスも多く、気を引き締める毎日でした。3 年目の今年には評価部の業務進行管理を任されていますが、やはりリーダーとしては至らない点が多く、評価部の皆を惑わせてばかりの毎日だったかな、と反省することしきりです。そんな今になって感じることは、それでも 3 年前から少しだけ、「経験値」が上がっている自分です。仕事に関する物事の考え方や組み立て方を今一度広い範囲で、

●フォーラム「京都大学—清華大学環境技術共同研究・教育センターに期待するもの」の開催について【京都大学日中センター】

●「老朽化した埋設カルバートの復旧に関する研究報告会」（既設および更生管きよの力学挙動と設計に関する技術資料の技術説明会）の開催について【地盤工学会】

=====

○平成 25 年度の下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）の公募開始！！
（管渠マネジメントシステム技術）【下水道事業課】

2月22日付で、国交省において平成25年度のB-DASHプロジェクトの公募（管渠マネジメントシステム技術）を開始しましたので、お知らせします。

本実証事業は、老朽化が進む長大な下水道管渠を適切に管理するため、スクリーニング調査を核とした管渠マネジメントシステム技術をモデル処理区において構築・実証し、管渠のライフサイクルコストの低減と投資の最適化を図ろうとするものです。

本事業の公募の概要やスケジュール等について、以下のとおり説明会を開催し、国土交通省より説明いたします。

・日時：2月26日（火） 10時～12時

・場所：〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル8F

下水道新技術推進機構内 会議室

なお、提案書等の提出締切は3月13日となりますので、関心をお持ちの方は下水道事業課環境調整係樽井までご連絡ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000191.html

●鳥取市で4月より下水污泥焼却灰からのリン回収事業開始！【鳥取市】

平成22年12月28日より整備を行っていた、秋里下水終末処理場汚泥処理設備工事（リン回収設備）が、平成25年2月28日に完成し、同年4月1日より本格稼働します。

本システムは、下水道の焼却灰よりリン酸塩を回収し、肥料の原料としてJA全農を通じて肥料会社へ販売する予定としております。

※2月14日の毎日新聞に掲載されています（下記）。

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20130214-00000284-mailo-131>

●第6回わいがやトークを開催します【下水道広報プラットホーム（GKP）】

下水道広報プラットホーム（GKP）では、「わいがやトーク」といって、定期的な様々な分野の方々の講演会や意見交換会を実施しています。次回（第6回）は以下の要領で開催いたしますので、是非お誘い合わせの上ご参加下さい。参加のお申し込みはGKPホームページよりお願いします。

日時：平成25年3月7日（木）16：30～18：50

講演（16：30～17：30（予定））・質疑応答（17：30～17：45）

懇親会（17：50～18：50）

講師：小倉紀雄氏（東京農工大学名誉教授）

演題：「市民環境科学のすすめ ～下水道と川と人のつながり～」

<講師より>

東京八王子の主婦のグループにより行われた身近な川の汚れの調査から

20年経過した2004年に「身近な水環境の全国一斉調査」が始まった。
水質は下水道の普及により改善されたが、水量の不足など課題も残っている。これらの経過をたどり、市民環境科学の発展と下水道と川と人のつながりについて考えてみたい。

会場：日本下水道協会5階会議室

<http://www.gk-p.jp/information.html>

●フォーラム「京都大学—清華大学環境技術共同研究・教育センターに期待するもの」の開催について【京都大学日中センター】

来る3月10日（日）16時より京都市内にて、下記の通りフォーラムを開催する予定です。

本フォーラムでは、これまで京都大学日中センターの活動に賛同いただいた寄附企業をはじめ環境関連の民間企業、共同研究等に関心をお持ちの企業・公的機関、省庁・地方公共団体をはじめとする公的機関、その他関係の皆様により日中ならびに海外環境技術協力に関して討論していただくと同時に、企業・関係者間および日中関係者相互の交流と友好の発展を図ることを目的としております。

年度末のお忙しい時期ではありますが、民間企業、関連団体の方々の多数のご参加をお待ちしています。参加申し込み、その他お問い合わせは京都大学日中センター・岡本までご一報いただければ幸いです。詳しい案内、参加申込書など送付いたします。

okamoto.seiichiro.8s@kyoto-u.ac.jp

フォーラム「京都大学—清華大学環境技術共同研究・教育センターに期待するもの」

主 催： 京都大学—清華大学環境技術共同研究・教育センター

共 催： 日中環境技術研究講座協議会、京都大学大学院工学研究科
清華大学深セン研究生院 ほか

日 時： 3月10日（日）16：00～19：30

場 所： メルパルク京都 6階宴会会場6 楓

プログラム（予定）：

1. 開会の挨拶 藤井 滋穂（京都大学地球環境学堂長、教授）
2. 趣旨説明 田中 宏明（京都大学教授）
3. 協議会について 手島 肇（日中環境技術研究講座協議会会長）
4. 日中センター立ち上げの経緯 津野 洋（京都大学名誉教授）
5. 日中センターの活動と今後の展開 田中 宏明（京都大学教授）
6. 日中センターの今後の展開と協議会へのメッセージ 清華大学代表
7. 日中センターに期待すること 矢尾 眞（日中環境技術研究講座協議会幹事）
8. 日中センター、協議会に期待すること 武田 信生（京都大学名誉教授）
9. 覚書の披露

会議後、意見交換会（18：00～19：30）

●「老朽化した埋設カルバートの復旧に関する研究報告会」（既設および更生管きよの力学挙動と設計に関する技術資料の技術説明会）の開催について【地盤工学会】

標記技術資料については、公益社団法人地盤工学会の「老朽化した埋設カルバートの復旧に関する研究委員会」において平成22年から24年にかけて議論されてきたとこ

ろです。そして今回、地盤工学会委員会の成果として技術資料としてまとめ、その講習会を東京と大阪で4月に予定しました。

主な内容としては、既設管きょや更生管きょに作用する荷重(土圧、地震動、水圧、輪荷重など)の挙動を補足実験や解析を行いその提案式を示した資料となっています。これまで解明されていなかった既設管きょの断面方向に作用する提案式を紹介しています。特に地震時に作用する荷重の解明は今後既設管きょの診断や更生管の経済的な設計、耐久性の解析に役立つと考えています。この分野の最新の研究動向を分かりやすく紹介するものです。多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

日時：(大阪)4月18日(木)13:30~16:40、(東京)4月24日(水)13:30~16:40

会場：(大阪)大阪市立大学文化交流センター、(東京)地盤工学会

内容・講師：

第1章 総論 東田 淳(大阪市立大学)

第2章 劣化していない既設管きょの力学挙動と設計法

吉村 洋(阿南工業高等専門学校)

第3章 更生した管きょの力学挙動と設計法

井上 裕司(中央復建コンサルタンツ(株))

第4章 まとめと今後の課題 三品 文雄(エースコンサルタント(株))

お申し込みは下記より

http://www.jiban.or.jp/index.php?option=com_content&view=article&id=1395&Itemid=78

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■研究集会「取付管の今日的課題」の開催について【NP021 世紀水倶楽部】

(3月27日開催)

<http://www.21water.jp/j-sched.htm>

→2月8日開催

■土木学会環境工学委員会・下水道関連震災調査小委員会シンポジウム

「東日本大震災の経験から次世代の下水道を考える」の開催について【下水道事業課】

(3月19日開催)

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

→2月1日掲載

=====

【参考情報】

◆震度分布など7項目公表／巨大地震の新被害想定 <2/16 四国新聞>

http://www.shikoku-np.co.jp/kagawa_news/social/20130216000134

◆浸水被害拡大防止へ、諏訪に排水ポンプ車 <2/16 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/nagano/news/20130215-0YT8T01376.htm>

◆三菱レイヨン、アジアで水処理膜開発 中国・清華大と研究所 <2/16 日本経済新聞>

<http://www.nikkei.com/article/DGXNZ051776180V10C13A2TJ1000/>

◆大規模災害に備え液状化と津波課題に議論 西条 <2/17 愛媛新聞>

<http://www.ehime-np.co.jp/news/local/20130217/news20130217928.html>

◆下水道事故 高知市が再発防止委設置 <2/19 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/kochi/news/20130218-0YT8T01284.htm>

◆災害の履歴調査を 諏訪市防災講演会 <2/19 長野日報>

<http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=27705>

◆インフラ老朽対策を部で統括 <2/21 中国新聞>

<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201302210026.html>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～

発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/seikai3.pdf>
